



# 誰もが生き生きと働き、安心して暮らすことのできる北海道をめざして

北海道知事 高橋はるみ

## はじめに

今、世界は同時不況に陥り、我が国、そして、本道においても景気・経済は急激に冷え込んでいます。このたびの危機的な状況は、私たちの暮らしや未来に大きな不安をもたらし、そのことは、地域の活力までも損ないかねません。

しかし、こうした厳しいときだからこそ、未来に夢と希望が持続する「新生北海道」の創造に向けた歩みを決して緩めることなく、より確かなものとしていかなければなりません。

## 道政に臨む基本姿勢

私は、この一年を本道の将来にとって重要な節目の年と捉え、「北海道に大きな「安心」の屋根を掛ける一年」と位置付け、きめ細かな目配りと、大胆な政策の実行で、「経済」「暮らし」、そして「未来」という、三つの「安心」を全道に広げていく道政を展開していきます。

## 重点施策の展開

今年度取り組む重点施策の一点目は、「安心できる雇用環境と力強い産業づくり」です。離職を余儀なくされた皆様への再就職支援や生活支援といった雇用のセーフティネットづくりに万全を期すとともに、新一村一雇用おこし、官民協働による地域サービス業のモデル構築など、雇用環境の創出に取り組みます。

また、昨年から施行した産業振興条例に基づく製品開発や販路開拓支援、中小企業応援ファンドの活用など地域の基幹産業の体質強化に取り組みます。さらに、北海道洞爺湖サミット開催による知名度の向上を活かしながら、世界に通用する「食」や「観光」の新たな付加価値の創造と発信に努めていきます。

加えて、さまざまな国際会議の誘致・開催を通じて、北海道の多彩な魅力を世界にアピールしていきます。

二点目は、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」です。

救命救急医療の強化を図るとともに、周期センターへの支援といった産科医療体制の充実や医師不足地域への医師派遣体制の強化など安全・安心で活力ある社会の創造に取り組みます。

また、安心して生み育て、健やかに成長できる環境づくりを進めるとともに、農林水産業の担い手の育成・確保、ものづくり産業や地域の中小企業で働く技術者の養成など、未来を担う人づくりに取り組みます。三点目は、「環境と調和する社会の形成」です。

環境に貢献する企業を評価・認定する制度を創設するほか、環境に配慮した新技術の導入を促進していきます。

また、カーボンオフセットを活用した森林づくりや木質ペレットなど代替エネルギーの普及を図るほか、「循環資源利用促進税」を活用したリサイクルや研究開発の

促進、さらには、エコビジネスの振興に取り組みしていきます。

こうした取組みに加え、「未来に向けた基盤づくり」を進めていきます。

地域主権型社会に向けた取組みを着実に前進させるため、「道州制特区推進法」に基づき、国に対して、本道の特性を活かした提案を、更に積み重ねていきます。

また、広域的な視点に立った道行政の着実な展開に向け、支庁の体制整備に取り組みほか、住民に最も身近な基礎自治体である市町村の充実・強化に向け、事務・権限の移譲を進めます。

さらに、より効率的な組織体制と財政基盤を築くため、新たに策定する「道組織の見直し方針」に基づき、効果的・効率的な行政組織となるよう取組みを進めるとともに、施策全般にわたるコストの削減など、徹底した行財政改革を進めていきます。

## むすび

わずか百数十年でヨーロッパの一国にも匹敵する、くにづくりを成し遂げた北海道は、昨年、世界の首脳が集うサミット開催の地となりました。これは、多くの先人たちの英知と果敢な挑戦の賜であり、今を生きる私たちに大いなる勇気と自信を与えてくれます。

このフロンティア精神とたゆまぬ努力を継承し、誰もが生き生きと働き、安心して暮らすことのできる北海道の創造のため、全力を尽くしていきます。